

## 1 はじめに

今金町の町民として、「障がい者スポーツを発展させたい。特別支援教育・障がいについていろいろな人に理解してもらいたい。」という気持ちで、本校生徒はもとより、小学生、中学生、町民と関わってきました。体育教員として、また、障がい者スポーツ指導員資格保持者、今金町スポーツ推進委員として自分のできることをやってきました。

## 2 障がい者スポーツを始めたきっかけ

前任校の北海道美唄養護学校で、「北海道知的障害養護学校体育大会（知養体）」の当番校で主担当として大会運営をしたことをきっかけに障がい者スポーツに興味が沸きました。現任校の北海道今金高等養護学校では、「北海道高等養護学校体育大会（高養体）」への引率、陸上部顧問として生徒に指導を続ける中で、「北海道高等養護学校体育大会（高養体）」がなくなり、生徒が出場できる大会が北海道障がい者スポーツ大会のみとなり、その大会で生徒が活躍できるように指導を続けました。初級障がい者スポーツ指導員を受講したことで、障がい者スポーツに対する視野も広がり、さらに興味をもつようになりました。

平成24年度に今金町スポーツ推進委員に任命され、今金町内だけではなく、檜山管内のスポーツ振興に携わってきました。各行事に運営補助として参加することで、「本校生徒にもできることはないか。」という考えをもち、会議に参加してきました。そして、生徒の卒業後も見据え、余暇活動の充実や地域住民・参加者とのつながりをもってもらうために生徒に地域のスポーツ行事に積極的に参加するよう呼びかけるようになりました。

## 3 取組を通じてうれしかったこと

北海道障がい者スポーツ大会へ毎年出場し、生徒が良い結果を残し、翌年の全国障害者スポーツ大会に平成24年度から6年連続本校生徒が出場することができたことです。大会前の強化練習では、厳しい指導にもめげることなく「メダルを取りたい。」という目的をもって取り組む生徒の姿にいつもやり甲斐を感じています。ここ数年はしっかりメダルを取ることができているので、本当に毎年「やってきて良かった。」と実感しています。

今年度から、学校として今金町の行事などに生徒が積極的に参加するようになり、生徒の実態を地域の方に知ってもらうことができました。卒業後の進路先に今金町内を希望する生徒も増えてきたことで、もっと在学中に町民とふれあえる場所や行事を多くしたいと思っております。今金町スポーツ推進委員の立場として、今後も生徒を地域に出していけるような取り組みをしていきます。

## 4 取組を進める上で、日頃から心がけていること

「初心忘るべからず。」です。「これでいいや。」「ここまででいいや。」ではなく、何事にも挑戦する気持ちで取り組んでいくことです。スポーツだけではなく、通常の業務でも、ただこなすのではなく、やっていることへの「意味」や「価値」を見出しながら結果を残せるような取り組みをし続けたいと考えています。

## 5 今後の取組について

毎年、「全国大会」という大きな舞台を本校生徒に経験させたい。また、全国障害者スポーツ大会北海道選手団陸上競技知的障がいコーチとして数年参加させていただいているので、本校生徒だけではなく、北海道選手団メンバーが良い結果を残せるようにサポートしていきたいと考えています。

現在、上級障がい者スポーツ指導員として初級障がい者スポーツ指導員講習会の講師や今金町スポーツ推進委員として、障がい者スポーツ分野においても、学校だけではなく、いろいろな所で普及活動を展開できればと思っております。